

第5回都市交通システム海外展開研究会の開催について（結果報告）

アジアや中南米地域など、経済発展による都市化と著しい交通渋滞が発生している大都市において、都市交通システムの必要性が拡大しています。国土交通省では、国際的な競争が激化する中で、日本が有する「都市交通システム等の整備における民間企業・公共団体・国の総合力」という「強み」を活かすべく、関係者が幅広く参加する本研究会を設置いたしました。

本研究会は、各国政府の都市交通に関する動きなどの情報の早期収集・共有、官民一体となったトップセールスの展開等により、我が国が有する技術・経験等を活用した海外でのインフラ整備プロジェクト等の実現を支援することを目的とし、この度、第5回を開催いたしましたので、お知らせします。

○開催概要

(1) 日 時：平成29年3月1日（水）13時00分～15時00分

(2) 会 場：フクラシア東京ステーション

(3) 主 催：国土交通省 都市局

(4) 委 員：

- | | | |
|----------|-------------------------------------|-----------|
| ＜座 長＞ | 日本大学教授 | 岸井 隆幸 |
| ＜副座長＞ | 国土交通省 大臣官房技術審議官（都市局担当） | 廣瀬 隆正 |
| ＜委 員＞ | 横浜国立大学教授 | 中村 文彦 |
| | 東京大学准教授 | 瀬田 史彦（欠席） |
| | （公社）日本交通計画協会、（一社）日本モノレール協会、 | |
| | （公社）立体駐車場工業会、（一財）都市みらい推進機構、 | |
| | （独）国際協力機構（JICA）、（独）日本貿易振興機構（JETRO）、 | |
| | 国際都市計画交流組織推進協議会（INEX）、 | |
| | 国土交通省 総合政策局海外プロジェクト推進課長、 | |
| | 道路局企画課長、鉄道局国際課長、 | |
| | 都市局街路交通施設課長・街路交通施設企画室長（欠席）、 | |
| | 都市局都市計画課都市計画調査室長 | |
| ＜オブザーバー＞ | （独）都市再生機構 | |

(5) 参加者：約90名

(6) 研究会結果概要

- ・ 廣瀬副座長、岸井座長の挨拶の後、国土交通省都市局から、海外展開の取組状況として、JICA 等関連機関との連携、技術協力として専門家の派遣、開発調査への働きかけ、都市交通セミナーの開催やトップセールス等に関する報告がなされた。
- ・ 中村委員から、「最近の調査・研究から」として、メデジン（コロンビア）、ハノイ（ベトナム）、ジャカルタ（インドネシア）、バンコク（タイ）の都市交通の状況について紹介がなされた。また、海外展開にあたっては、駅から周辺の市街地までの動線も考える必要があり、TODを志向した海外展開も重要であるとの指摘がなされた。
- ・ (独) 国際協力機構（JICA）から、都市交通分野における取組として、ダルエスサラーム都市交通関連プロジェクトやパナマ首都圏都市交通3号線整備事業について紹介がなされた。
- ・ (公社) 日本交通計画協会から、新交通システム研究部会の活動状況について紹介がなされた。
- ・ (一社) 日本モノレール協会から、海外で建設された日本型モノレールの現状として、重慶、セントーサ、ドバイ、大邱のモノレールについて紹介がなされた。
- ・ (一財) 都市みらい推進機構から、都市基盤技術サイト（てくTechまちさんぽ）について紹介がなされた。
- ・ 総括として、岸井座長から、「交通と土地利用を一体的に考える必要性について世界に知ってもらいたい」「より具体的な解決策の提示に向けて、皆さんと協力して海外展開を進めていきたい」との発言がなされた。
- ・ 最後に、国土交通省都市局街路交通施設課長から閉会の挨拶があり、研究会を閉会とした。



問い合わせ先

国土交通省 都市局 街路交通施設課 大櫛

代表 03-5253-8111(内線 32853) 直通 03-5253-8417